

令和6年度 第1回 藤沢市立羽鳥中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024（令和6）年5月29日（水）15時開会

場所 藤沢市立羽鳥中学校 多目的室

| No | 氏名 | | 出欠 |
|----|--------|----------------------|----|
| 1 | 青木 茂道 | 青少年育成協力会会長 | ○ |
| 2 | 小河 愛由美 | 三者連携・民生委員 | ○ |
| 3 | 齋藤 美江子 | 元学校評議員 元PTA会長 | ○ |
| 4 | 岩淵 富美代 | 元学校評議員 | ○ |
| 5 | 戸塚 渉 | 明治市民センター長 | ○ |
| 6 | 西塔 光好 | 元中学校教頭 | ○ |
| 7 | 林 久美 | 元学校評議員 | ○ |
| 8 | 秋田 典子 | 児童委員 | ○ |
| 9 | 能勢 敏之 | 民生委員 | ○ |
| 10 | 若林 理恵 | 藤沢市社会福祉協議会明治地区担当 CSW | ○ |
| 11 | 市村 慶子 | 社会福祉法人いきいき福祉会ラポール城南 | ○ |
| 12 | 三觜 恵加 | 前PTA会長 | ○ |
| 13 | 伊藤 由紀子 | PTA会長 | ○ |
| 14 | 深津 礼子 | 本校校長 | ○ |
| 15 | 溝尾 昌也 | 本校教頭 | ○ |

※冒頭のみ、桃原教務主任、渡邊1年学年主任、諸橋2年学年主任、小祝3年学年主任出席、挨拶後退席

| | |
|--------|--|
| 次 第 | <p>1. 開会 青木会長より開会のあいさつ</p> <p>2. 校長挨拶、委員、自己紹介を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任命書交付（溝尾委員、伊藤委員） ・教務主任あいさつ ・各学年主任あいさつ <p>渡邊 T 生徒は、入学式からあいさつがよくできる、この力を継続して伸ばしていきたい。人間関係においては、複数の小学校からの入学となるため、慣れていってほしい。2ヶ月経ってみて、着替えにに時間がかかっている部分もあるが、一生懸命によくやっている。学校生活の中で起こった「ミス」を自らが、認められるような生徒になってほしい。学年通信のタイトルもその願いが込められている。</p> <p>諸橋 T 1年次のクラス、部活動でまだ固まっている部分もあるが、全体的には、落ち着いた形でスタートできている。何事にも、ハングリーさみみたいなものが出てくるといい。これからは合唱への取り組みがはじまるので頑張らせたいたい。</p> <p>小祝 T 行事が続く、慌ただしい中ではあるが、生徒はよく頑張っている。体育祭も無事、成功に終わった。行事に集中できる日々感謝している。修学旅行も終わったが、生徒はよく切り替えができています。</p> <p>校長より 今年の1年生は元気がいい。登校時、挨拶が生徒からできている。よい面を伸ばしていきたい。始業式の担任発表の際、自然と拍手がおこり、いい雰囲気だと感じた。入学式が始まる前の雰囲気にも活発さを感じた。授業もここまで順調に取り組んでいる。体育祭は昨今の気象状況から、午前中のプログラムに変更したが、プログラムの内容に関して、生徒への周知が遅れた部分もあった。その中で、生徒の方から、プログラムについて、「こうしてみたい」という、積極的な提案があったことは評価している。合唱祭と文化祭を今年度より同日程開催とすることとした。熱中症対策も加味した変更となる。それに伴い、生徒のステージ発表はこの枠ではできなくなったことから、生徒会の月一レクでパフォーマンスを行う予定である。修学旅行に同行したが、マナーがよく、3日間無難にスケジュールをこなすことができた。普段の授業においても、落ち着いて受けることができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインについて <p>昨年度と大きくは変わっていないが、何カ所か変更した。自分の身近な部分だけではなく、「社会」を追加した。「主体的」「自分で判断して」を大切にしたい。教育活動全般を通して生徒の「主体性」を意識させたい。</p> <p>校則面も生徒に自主性を促す目的で、その場にあった服装を生徒の判断で行う形</p> |
|--------|--|

で、スタートをした。

中央議会（各委員会の委員長、本部役員等が出席する）には、委員会の教員も同席する習慣があったが、今年度からは、生徒が返答に困ったら、その場で教員が答えるのではなく、一度持ち帰るようやり方を変えた。

あらゆる教育活動の場面では、「体験」を重視したい。自分が「体験」することによって、心が動き、経験値が高まり、知識を獲得していく過程を大切にしたい。職場体験にかかる職員の負担が多くなった等の課題から、数年前からキッザニアに変更したが、中学生としての学びに課題を感じた。また、金銭面の兼ね合いも含め、今年に関しては、業者委託による職場体験を行う方向で調整している。職場体験活動においては、地域の人と関わることも大切にしたい。体験先を見つけることや職場との調整に課題があることから、委員の皆様にもお手伝い頂ければありがたい。八松小では、今年度からコミュニティスクール立ち上げにあたり、地域の人に見守りや教育活動に積極的にお願いしたい、と聞いている。中学校としては、地域とのつながりに重点を置きたい。どの教育活動においても、「主体性」と「体験」を大切にしたい。

戸塚委員：明治市民センターでも職場体験を受け入れた。2人の明治中生徒を受け入れる予定だったが、体調不良等で満足に実施できなかったが、これからも活用してほしい。地域の催しにどうしたら若者が参加するのか、課題としてある。

青木委員

経営の重点の中で、「現職教育」とは何か

深津校長

教員の研修を指すものである。

青木委員

地域での活力を生徒へ還元したい思いがある。還元できる事例があれば紹介してほしい。ふれあい38号にも青少協の取り組みとしてキャンプを企画している。中学生にはアシスタントをお願いしたいと考えている。

岩淵委員

若い人がいるだけで、頼りになる。キャンプは良い試みだと感じる。

小河委員

海洋少年団を25年やっている。海上自衛隊がついて行ってくれる。船の存在をもっと知ってほしい。地域でイベントを開催したい。職業体験の件も商工会議所に話をし、とりまとめはお願いできるかもしれない。役所関係は戸塚委員に働きかけてもらって。金銭面に負担をかけずに実施したい。

齋藤委員

自分の子どもは職場体験に行った。オーケストアにいったが、そのときの経験をいまでもよく口にする。記憶に残る行事であったと実感している。職業体験はとても大切だと思う。夏のキャンプもとてもよい企画である。

岩淵委員

サブグラウンド、体育祭から聞こえる生徒の声がよく聞こえる。体育祭では、団体競技がとてもよかった。朝のあいさつは生徒からしてくれる。職業体験、明治幼稚舎は受け入れてくれるのではないかな。

戸塚委員

何ができるのか、居場所等センターで何ができるか、考えてきている。職業体験は積極的に協力したい。教師への負担がかからないようにしたい部分はある。教育委員会とも連携する必要がある。

西塔委員

特別支援の観点で仕事をしている。授業形態での課題が多いと感じる。少人数及びティームティーチングをもっと進めるべきだと思う。職業体験、修学旅行についても、学習する「過程」が大切。結果だけを求めてはいけないと思う。委員として、私ができることをやっていきたい。

林委員

校長から説明のあった、グラウンドデザインでの大切な視点、「主体性」「体験」、非常に共感できる。職場体験を企画運営する先生方の負担感は相当なものであると感じる。自分の子どもたちはこの職業体験が将来につながっていると実感している。地域密着という考え方のもと、協力できることはしていきたい。体育祭では、全員リレーがなくなったことは保護者の間では残念がっている意見が多かったようです。

秋田委員

職業体験では、地域とのつながりを大切にしたい。ここにいるメンバーが一丸となり、他分野にわたって、生徒へ体験場所等、できるだけ多く提供をしていきたい。生徒が充実感を味わうためにも、生徒が一からやることも大切ではないかな。中学生がリーダーとして参加することで、成長すると感じる。頼られる経験は中学生にとってとても貴重な体験となる。

能勢委員

自分に置き換えると、義務教育が終わったら社会に出る時代であった。自分がいきたいと希望したところにいけた時代だった。高校に進学する人は勉強をすることが主たる目的であった。たくさんの情報を提供することはできるが、学校がどうするか、方針を決めるところが大切ではないかな。

若林委員

職場体験の体験先として、福祉施設や作業所等受け入れる場所はいくつかある。学童クラブも候補ではないかな。コロナも5類以降に伴い、受け入れ可能な場所は増えてきているのではないかな。

市村委員

相談機関、高齢者支援を中心に働いている。居場所として開放している中で、中学生が来てくれると小学生にとってとても有意義となる。テスト前に自習室として居場所解放をしている。以前、稲荷のラポールに職業体験で羽鳥中の生徒が来

ていた。高齢者も大変楽しみにしている。

三觜委員

個々のメンバーは、おおきなつながりがある方が多いと感じる。みなさんが心強く感じる。先日の研修会の中で、様々な分野の方の話を聞く機会はとても重要であると感じる。大人たちが夢の実現に向かう「過程」を共有することで、自分ごととして夢の実現に向けたサポートになると感じている。

伊藤委員

皆さんのお話に満足している。PTA 本部としても地域の皆様とつながりを持ちたい。みなさまから知恵を頂いて、頑張っていきたいと思う。

青木委員

企画する際は、子どもの意見も聞く必要があると感じるが、学校側としてもしほりもある。子どもの意見を取り入れる意識を持つ必要がある。昔は、運動会で子どもと地域の人で綱引き競技があった。地域の人に学校を知ってもらう機会があった。いろんな問題を解決しながら進んでいきたい。

3. 議題

- (1) 学校の様子（体育祭、修学旅行・学校生活全体について）
「2 自己紹介」で話をしたとおり
- (2) 2023年度学校評価まとめ
資料のとおり
- (3) その他

4. 次回以降の会議日程

| | | | | | | |
|-----|-----|--------|-------|---|----|--------|
| 第2回 | 7月 | 1日(月) | 13:30 | ～ | 本校 | 図書室 |
| 第3回 | 10月 | 8日(火) | 13:30 | ～ | 本校 | 図書室→再考 |
| 第4回 | 12月 | 10日(火) | 13:30 | ～ | 本校 | 図書室→再考 |
| 第5回 | 2月 | 25日(火) | 13:30 | ～ | 本校 | 図書室 |

閉会